

映画の中の日本文学

Part 3

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

映画の中の日本文学 Part 3

Japanese Literature in Film Part 3 [Film Screening]

2010年4月6日(火) - 5月9日(日)

4月の休館日:

月曜日、3月29日(月) - 4月5日(月)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

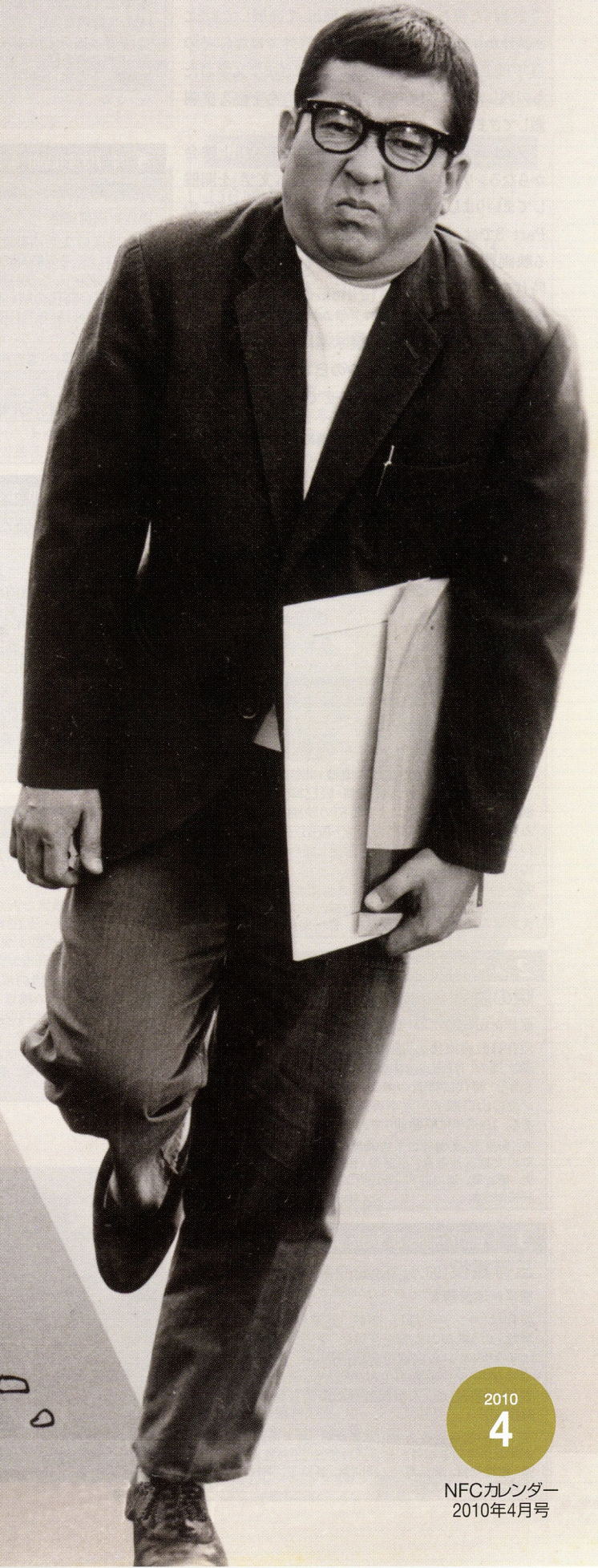
発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



2010

4

NFCカレンダー
2010年4月号

大ホール 上映作品

映画の中の日本文学 Part 3 Japanese Literature in Film Part 3 [Film Screening]

世界の映画史をひもとけば、どの国の映画も、そこで生まれた優れた文学作品を糧として発展してきたことが分かります。映画大国日本も例外ではなく、その百年以上にわたる歴史を通じて、さまざまな文学者たちの残したテキストが脚本家や監督たちを絶えず刺激してきました。

フィルムセンターでは、一昨年より展示会と上映会からなるシリーズ企画「映画の中の日本文学」を開催してまいりましたが、その3回目で最終回となるこのPart 3では、戦後期に活躍した作家たちの原作による映画作品に焦点を当てて、個々の文学作品が各時代の文化状況の中でいかに一本の映画に“翻訳”されたかを、45本(43プログラム)の名作を通じてたどりまします。フィルムセンター展示室にて開催の展示会「映画資料でみる 映画の中の日本文学 Part 3」(4月6日～6月20日)とあわせてお楽しみ下さい。

- ◎=監督 ◎=脚本・脚色 ◎=撮影 ◎=美術・装置 ◎=音楽 ◎=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。

●作品解説：田中真澄

1 4/6(火)1:00pm 4/28(水)4:30pm

王将 (93分・35mm・白黒)

原作▶北條秀司

「王将」は戦後の商業演劇の重鎮・北條秀司の代表作で全三部作。いずれも新国劇・辰巳柳太郎主演で初演された。伊藤大輔による最初の映画化は第一部のみ。無学な庶民で将棋の天才・坂田三吉を時代劇の巨星・阪東妻三郎が熱演、低迷していた伊藤大輔の再生の一作となった。

'48(大映)◎伊藤大輔◎石本秀雄◎角井平吉◎西悟郎◎阪東妻三郎◎水戸光子◎三條美紀◎小杉勇◎斎藤達雄◎大友柳太郎◎瀧沢修◎三島雅夫◎香川良介

2 4/6(火)4:00pm 5/1(土)11:00am

暁の脱走 (110分・35mm・白黒)

原作▶田村泰次郎「春婦伝」

原作は敗戦直後の「肉体文学」ブームの立役者・田村泰次郎の「春婦伝」。中国での長い軍隊経験の産物でもある。時代に特有の熱気を放つ映画の中で、ヒロイン役の山口淑子が元李香蘭であることに複雑な感慨もある。1965年に原題通りで鈴木清順が再映画化した。

'50(新東宝)◎◎◎谷口千吉◎黒澤明◎三村明◎松山崇◎早坂文雄◎池部良◎小澤栄◎山口淑子◎伊豆肇◎田中春男◎柳谷寛◎清川莊司◎若山セツコ◎立花満枝◎安雙三枝◎利根はるゑ

3 4/6(火)7:00pm 5/2(日)2:00pm

三等重役 (98分・35mm・白黒)

原作▶源氏鶏太

原作は「サンデー毎日」連載。実業界のパーズとその解除という戦後の変容を背景に「やとわれ社長」を中心にサラリーマンの哀歓を喜劇的に描く。源氏鶏太は東宝サラリーマン映画の生みの親ともいえ、後年東宝監督役に就任した。人事課長役の森繁久彌の出世作でもある。

'52(東宝)◎◎◎春原政久◎山本嘉次郎◎井手俊郎◎玉井正夫◎北川恵子◎松井八郎◎河村黎吉◎小林桂樹◎森繁久彌◎越路吹雪◎関千恵子◎藤間紫◎島秋子◎澤村貞子◎小川虎之助◎井上大助

4 4/7(水)1:00pm 4/22(木)7:00pm 5/1(土)2:00pm

真空地帯 (128分・35mm・白黒)

原作▶野間宏

戦後派作家として最初に登場した野間宏は、その後も中心的存在だったが、映画化は長篇第1作の「真空地帯」のみ。かつての陸軍内務班の非人間的現実を伝える。野間自身が思想関係で陸軍刑務所入りの経験を持つ。再軍備へ向かう風潮に抗して、左翼系独立プロとして警鐘を鳴らす作。

'52(新星映画)◎◎◎山本薩夫◎山形雄策◎前田実◎川島泰造◎平川透徹◎伊玖磨◎木村功◎利根はるゑ◎神田隆◎加藤嘉◎下元勉◎西村晃◎三島雅夫◎岡田英次◎金子信雄

5 4/7(水)4:00pm 4/25(日)11:00am

足摺岬 (107分・35mm・白黒)

原作▶田宮虎彦

田宮虎彦の文学活動は戦前からだが、戦後になって認められた。その時期の「絵本」「菊坂」「足摺岬」の三短篇から脚色したのが映画「足摺岬」で、原作者の自伝的な暗い時代の暗い青春が描き込まれた。少年役の砂川啓介は後年NHKテレビで「体操のお兄さん」になった。

'54(近代映画協会)◎◎◎吉村公三郎◎新藤兼人◎宮島義勇◎丸茂孝◎伊福部昭◎木村功◎津島恵子◎日高澄子◎殿山泰司◎御橋公◎森川信◎赤木蘭子◎信欣三◎神田隆◎菅井一郎◎金子信雄◎下元勉◎砂川啓介

6 4/8(木)1:00pm 5/2(日)10:30am

二十四の瞳 (155分・35mm・白黒)

原作▶壺井栄

小学校の女教師と十二人の教え子たちの転変を軸に、国家に抑圧された戦前から戦後の再生に至る庶民の歴史。原作は敗戦日本が独立した1952年の作だが、2年後の映画化は木下恵介本来の抒情性とフランス滞在で目覚めた社会批判が渾然と融合して、平和を願う幅広い感動を誘う「国民映画」に結晶した。

'54(松竹)◎◎◎木下恵介◎楠田浩之◎中村公彦◎木下忠司◎高峰秀子◎月丘夢路◎小林トシ子◎井川邦子◎田村高廣◎笠智衆◎夏川静江◎浦辺条子◎清川虹子◎浪花千栄子◎明石潮◎天本英世◎高原駿雄◎小林十九二

7 4/7(水)7:00pm 4/25(日)2:00pm

愛と死の谷間 (117分・35mm・白黒)

原作▶椎名麟三

短篇小説「無邪気な人々」の映画化『煙突の見える場所』での椎名麟三と五所平之助の出会いが、椎名が『愛と死の谷間』『鶏はふたたび鳴く』のオリジナル・シナリオを提供する展開になった。観念的で難解とされた椎名文学への抒情的風俗作家・五所の接近も、戦後という時代の一つの風景であろう。

'54(日活)◎◎◎五所平之助◎椎名麟三◎小原譲治◎松山崇◎伊玖磨◎津島恵子◎乙羽信子◎芥川比呂志◎宇野重吉◎木村功◎伊藤雄之助◎高杉早苗◎安西郷子◎中村是好◎清水一郎◎左ト全◎多々良純◎山形勲◎飯田蝶子◎北林谷栄



真空地帯

8 4/8(木)4:30pm 4/24(土)10:30pm

潮騒 (96分・35mm・白黒)

原作▶三島由紀夫

欧米旅行でギリシャの古典美に目覚めた三島由紀夫が描いた牧歌的恋愛物語。ベストセラーになった原作を東宝が獲得し、売り出しの青春スター・コンビを谷口千吉が監督した。作家の中村真一郎が台詞を担当している。青春ものの定番として、その後3回の映画化がある。

'54(東宝)◎◎◎◎谷口千吉◎中村真一郎◎完倉泰一◎松山崇◎黛敏郎◎久保明◎青山京子◎上田吉二郎◎加東大介◎東野英治郎◎小杉義男◎三戸部スエ◎本間文子◎沢村貞子◎太刀川洋一◎宮桂子◎三船敏郎

9 4/8(木)7:00pm 5/8(土)11:00am

姉妹 (100分・35mm・白黒)

原作▶畔柳二美

自伝的作品といわれる原作は毎日出版文化賞を受賞している。映画化は独立プロながら姉妹役には若手スターを配し、時代を戦後に移し、原作の暗さや深刻さをやわらげ、庶民の生活感情や社会の矛盾を素直に描いている。続編「こぶしの花の咲くころ」も、家城監督で映画化された。

'55(中央映画)◎◎◎家城巳代治◎新藤兼人◎木塚誠◎山崎正夫◎大木正夫◎野添ひとみ◎中原ひとみ◎内藤武敏◎望月優子◎河野秋武◎川崎弘子◎多々良純

10 4/9(金)1:00pm 5/2(日)5:00pm

ビルマの豎琴 (116分・35mm・白黒)

原作▶竹山道雄

原作は一高教授だった著者の戦地に散った教え子たちへの鎮魂の書。子供向け作品として書かれたが、大人にも広く読まれた。市川崑が才気を抑えて演出した映画はヴェネツィア国際映画祭でサン・ジョルジョ賞を受賞。二部作として公開されたが現在見られるのは総集篇である。1985年に市川自身が再映画化。

'56(日活)◎◎◎市川崑◎和田夏十◎横山実◎松山崇◎伊福部昭◎三国連太郎◎安井昌二◎浜村純◎内藤武敏◎西村晃◎春日俊二◎三橋達也◎伊藤雄之助◎中原啓七◎伊藤寿章◎土方弘◎青木富夫◎花村信輝◎峯三平◎千代京二◎小柴隆◎宮原徳平◎加藤義朗

11 4/9(金)7:00pm 4/25(日)5:00pm

台風騒動記 (107分・35mm・白黒)

原作▶杉浦明平「台風十三号始末記」

愛知県に住む作家・杉浦明平のルポルタージュ「台風十三号始末記」が原作。台風で壊れなかった小学校を壊して政府の補助金をせしめようという、町のボスたちのたくらみをめぐる社会喜劇を、山本薩夫の独立プロと佐野周二を中心とする俳優グループ「まどかグループ」が共同製作した。

'56(山本プロ=まどかグループ)◎◎◎山本薩夫◎八住利雄◎山形雄策◎前田実◎平川透徹◎芥川也寸志◎佐田啓二◎菅原謙二◎桂木洋子◎野添ひとみ◎佐野周二◎渡辺篤◎三井弘次◎多々良純◎坂本武◎三島雅夫



潮騒

12 4/10(土)10:30am 4/28(水)7:00pm

ふしぎなくすり(15分・16mm・カラー)

原作▶星新一「盗んだ書類」

さまざまな素材を用いてヴァリエティ豊かな作品を残したアニメーション作家・岡本忠成の記念すべき独立第1作。原作には日本SF界の先駆者でショート・ショートの人々・星新一の作品を選び、そこに岡本自身のアイデアを盛り込んで、しゅれたコントに仕立てた。

'65(電通映画社)◎(アニメーション)岡本忠成◎村治夫◎吉岡謙二◎田畑精一、保坂純子(アニメーション)園哲太郎、マガリ文子◎眞鍋理一郎

詩人の生涯(19分・35mm・カラー)

原作▶安部公房

一方に労働運動、他方にジャケツに变身した老母。そこには前衛の党に属し前衛の芸術を志向していた当時の安部公房の二つの要素が含まれていた。原作を読んで自らの青春時代を想起した川本喜八郎が自主製作した。彼本来の人形アニメでなくパステルによる。

'74(アニメーション)川本喜八郎◎田村実(アニメーション)見米豊、石川隆男◎小前隆、徳山正美◎湯浅譲二

東北の神武たち(58分・35mm・白黒)

原作▶深沢七郎

原作は「楢山節考」で文壇に衝撃を与えた深沢七郎の第2作。東北の貧しい山村で嫁が取れない次・三男の中でも、口が臭いので相手にされない男が、伝え聞く山の彼方の娘ばかりの村へ旅立つという土俗的艶笑譚。市川崑演出は深刻に構えず、1時間程の中篇に仕上げて見せた。

'57(東宝)◎市川崑◎久里子亭◎山田一夫◎中古智◎団伊玖磨◎芥川比呂志、伊豆肇、小高尊、左ト全、溝井哲夫、恩田清二郎、堺左千夫、高畑文也、千葉一郎、岡部正、千葉太郎、佐藤允、千秋実、東郷晴子、浪花千栄子、三好栄子

13 4/9(金)4:00pm 4/29(木)11:00am

挽歌(116分・35mm・白黒)

原作▶原田康子

映画化に適した原作を捜していた五所平之助監督が同人雑誌から発見したのが「挽歌」であった。北海道のエキゾチックな風土と、知的な若い娘と妻子ある中年男の不倫という設定が、フランソワーズ・サガン風で新鮮な戦後派的メロドラマ映画を生み、原作は空前のベストセラーを記録した。1975年に再映画化。

'57(歌舞伎座)◎五所平之助◎八住利雄、由起しげ子◎瀬川順一◎久保一雄◎芥川也志◎久我美子、森雅之、高峰三枝子、石浜朗、渡辺文雄、中村是好、齊藤達雄

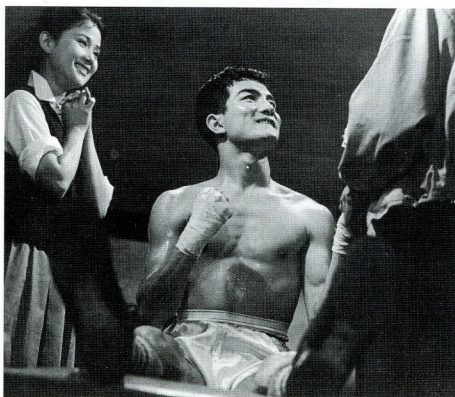
14 4/20(火)1:00pm 5/1(土)5:00pm 5/7(金)4:00pm

猫は知っていた(85分・35mm・白黒)

原作▶仁木悦子

女流ながら本格推理もので江戸川乱歩賞を受賞し、ミステリー・ブームの口火を切った話題作の映画化で、主役に起用された新進女優は原作者の筆名(兄妹探偵の妹役も同名)に因んで仁木多鶴子と改名して売り出された。トリックに応用されたテープレコーダーは当時はまだ珍しい文明の利器だった。

'58(大映)◎島耕二◎高岩肇◎小原謙治◎仲美喜雄◎大森盛太郎◎仁木多鶴子、石井竜一、北原義郎、品川隆二、金田一敦子、花布辰男、平井岐代子



若い獣

15 4/13(火)1:00pm 4/23(金)4:30pm

巨人と玩具(95分・35mm・カラー)

原作▶開高健

「パニック」で文壇デビューした開高健は次の本作で、当時論じられた「組織と人間」論をモチーフに、製菓会社の宣伝を通じてジャーナリズムの狂躁に浮き沈みする現代人を風刺した(その次の「裸の王様」で芥川賞受賞)。脚本の白坂依志夫、監督・増村保造もこの頃期待の新進だった。

'58(大映)◎増村保造◎白坂依志夫◎村井博◎下河原友雄◎塚原哲夫◎川口浩、野添ひとみ、高松英郎、伊藤雄之助、小野道子、山茶花究、信欣三

16 4/20(火)7:00pm 4/30(金)4:30pm 5/5(水)祝5:00pm

若い獣(101分・35mm・白黒)

原作▶石原慎太郎

「太陽の季節」で一躍ポスト戦後の若者文化の英雄となった石原慎太郎が、映画出演、シナリオ執筆を経て、自身の原作、シナリオで監督に初挑戦した若いボクサーの挫折の倒錯的ヒロイズム。素人監督に東宝の助監督たちの反対があったが、ボクシング場面には従来の日本映画にないリアルさを示す。

'58(東宝)◎石原慎太郎◎栗林実◎浜上兵衛◎筆敏郎◎久保明、団令子、河津清三郎、新珠三千代、佐原健二、東野英治郎、東郷晴子、瀬良良、田島義文、佐藤允、白石奈緒美、夏木陽介

17 4/10(土)1:00pm 4/27(火)7:00pm

点と線(85分・35mm・カラー)

原作▶松本清張

従来の非現実的設定の探偵ものと異なり、リアルな社会性、人間像を志向した社会派推理小説のさきがけとなったのが松本清張の「点と線」であった。それによってミステリーは映画の世界に接近した。映画『点と線』はカラーへの移行期で、色彩の心理的な効果が注目された。

'58(東映)◎小林恒夫◎井手雅人◎藤井静◎田辺達◎木下忠司◎南廣、山形勲、高峰三枝子、加藤嘉、志村喬、堀雄二、河野秋武、成瀬昌彦、小宮光江、月丘千秋、三島雅夫

18 4/18(日)5:00pm 5/6(木)1:00pm

森と湖のまつり(113分・35mm・カラー)

原作▶武田泰淳

北海道の雄大な自然を背景に、先住アイヌ民族の血をひきき民族のために闘う青年を中心に、彼を愛する和人の女流画家、アイヌだが和人と称する網元などを配した武田泰淳の渾沌たるメロドラマは、内田吐夢の手によって愛と闘争の叙事詩を目指しつつ和製西部劇の趣を残した。

'58(東映)◎内田吐夢◎植草圭之助◎西川庄衛◎森幹男◎小杉太一郎◎高倉健、香川京子、三國連太郎、中原ひとみ、藤里まゆみ、加藤嘉、薄田研二、宇佐美淳也、河野秋武、北沢彪、花沢徳衛、佐々木孝丸、山本麟一、有馬稲子



点と線

19 4/10(土)3:30pm 4/27(火)0:00pm

人間の条件 第一部・第二部

(206分・35mm・白黒)

原作▶五味川純平

五味川純平は文壇の外から現われ、文壇の外に多くの読者を持った作家である。この大長篇小説がベストセラーになったのは、一般庶民の間に戦争体験がなおも生き続けていたからに相違ない。彼は敗戦直前にノ連軍と交戦して全滅した部隊の奇跡的な生き残りだった。監督の小林正樹にも長い軍隊経験があり、真正面からこの題材に取り組み、3年がかりで全篇を映画化した。一・二部はヴェネツィア国際映画祭でサン・ジョルジョ賞を受賞。全9時間半の大作は、かつてはオルナイトで一挙上映されたものだが、その頃までは日本人に「戦後」が存在していたことを意味するだろう。

'59(にんじんくらぶ)◎小林正樹◎松山善三◎宮島義勇◎平高主計◎木下忠司◎仲代達矢、新珠三千代、淡島千景、有馬稲子、佐田啓二、山村聡、石浜朗、南原伸二、宮口精二、安部徹、三島雅夫、小沢栄太郎、三井弘次、河野秋武、中村伸郎、山茶花究

20 4/17(土)3:30pm 4/28(水)0:00pm

人間の条件 第三部・第四部

(178分・35mm・白黒)

*本篇上映の前に「人間の条件 第一部 第二部 梗概」(5分)を上映します。

'59(人間プロ)◎小林正樹◎松山善三◎宮島義勇◎平高主計◎木下忠司◎第三部:仲代達矢、新珠三千代、桂小金治、多々良純、南道郎、佐藤慶、田中邦衛、内田良平、柳寛寛、植村謙二郎、岩崎加根子、倉田マユミ、内藤武敏◎第四部:仲代達矢、佐田啓二、川津祐介、藤田進、千秋実、安井昌二、渡辺文雄、浜村純、小林昭二、諸角啓二郎、早野壽郎、井上昭文、牧真史

21 4/24(土)3:30pm 4/30(金)0:00pm

人間の条件 第五部・第六部

(190分・35mm・白黒)

*本篇上映の前に「人間の条件 第一・二・三・四部 梗概」(7分)を上映します。

'61(にんじんくらぶ)◎小林正樹◎松山善三、稲垣公一◎宮島義勇◎平高主計◎木下忠司◎仲代達矢、新珠三千代、中村玉緒、高峰秀子、川津祐介、笠智衆、内藤武敏、岸田今日子、睡麗子、諸角啓二郎、清村耕次、金子信雄

22 4/11(日)11:00am 5/7(金)1:00pm

コタンの口笛(126分・35mm・カラー)

原作▶石森延男

原作は北海道の先住アイヌ民族の姉弟が、和人の差別意識と闘いながら強く正しく生きていこうとする、児童文学者・石森延男の代表作。北海道出身の作者ならではの題材であり、現実を知るかゆえのヒューマニズムの産物であった。小市民的な女性映画を得意とした成瀬巳喜男の珍しい傾向の作。

'59(東宝)◎成瀬巳喜男◎橋本忍◎玉井正夫◎中古智◎伊福部昭◎久保賢、幸田良子、森雅之、宝田明、久保明、水野久美、志村喬、山茶花究、土屋嘉男、中北千枝子



人間の条件

23 4/21(水)4:30pm 4/29(木)2:00pm

わが愛

(97分・35mm・カラー)

原作▶井上靖「通夜の客」

井上靖は戦後の文学者の中でも特にすぐれたメロドラマ作者であったが、その井上の原作をもとに、メロドラマのベテラン・五所平之助が、戦争の時代をはさんで、ひたすら一人の男を愛し続けた女ごころの年代記を、耽美的に描いて正統的メロドラマ映画に仕立てた。

'60(松竹)◎五所平之助◎八住利雄◎竹野治夫◎平川透徹◎芥川也寸志◎有馬稲子、佐分利信、丹阿彌谷津子、乙羽信子、高橋とよ、川口京子

24 4/11(日)2:00pm 5/6(木)4:00pm

拳銃無頼帖 抜き射ちの竜

(85分・35mm・カラー)

原作▶城戸禮「日本拳銃無宿」

昭和30年代に底辺読者層向けの娯楽読物として流通した貸本小説は、大衆娯楽映画と重なり合う世界だった。中でも城戸禮の作品には日活アクション映画に通じる要素が多い。「日本拳銃無宿」の主人公「抜き射ち竜」は映画のヒットで、後年の版では映画に合わせて「の」を入れている。

'60(日活)◎野口博志◎山崎巖◎永塚栄◎大鶴泰弘◎山本直純◎赤木圭一郎、穴戸鏡、浅丘ルリ子、香月美奈子、沢本忠雄、草薙幸二郎、菅井一郎、西村晃、二本柳寛、高品格、藤村有弘、黒田剛、長弘、天草四郎

25 4/11(日)5:00pm 4/22(木)1:00pm

偽大学生 (94分・35mm・白黒)

原作▶大江健三郎「偽証の時」

大江健三郎の東大生時代の初期作品を、東大の先輩・増村保造が監督した映画。学生運動に紛れ込んだ偽学生を監禁した事件が、もみ消しを図る人々の偽証によって彼を狂人にしてしまうという不条理の寓話。原作と映画の題名の微妙な差は、文学と映画のありかたの違いでもあるだろう。

'60(大映)◎増村保造◎白坂依志夫◎村井博◎渡辺竹三◎黛敏郎◎若尾文子、藤巻潤、ジェリー・藤尾、村瀬幸子、船越英二、岩崎加根子、中村伸郎、伊丹一三、三田村元、大辻何郎、森矢雄二

26 4/13(火)4:00pm 4/29(木)5:00pm

花影 (99分・35mm・カラー)

原作▶大岡昇平

「俘虜記」「野火」「レイテ戦記」など戦記文学に代表される大岡昇平だが、「武蔵野夫人」のような恋愛心理小説が本来の道。銀座のバーの女性の男性遍歴を描く「花影」はその系統に属するが、映画には風俗と物語性への傾斜が強い。ヒロインには実在のモデルがあったという。

'61(東京映画)◎川島雄三◎菊島隆三◎岡崎宏三◎小島基司◎池野成◎池内淳子、佐野周二、池部良、高島忠夫、有馬一郎、三橋達也、山岡久乃、筑波久子、淡島千景、安達国晴、石田茂樹、藤山竜一、塩沢とき、中曽根公子

27 4/15(木)7:00pm 5/4(火)2:30pm

雁の寺 (98分・35mm・パートカラー)

原作▶水上勉

社会派推理小説で作家として再起した水上勉の関心が人間に向けられていく過程の作で、寺の徒弟となって宗教者の背徳を知った少年時代の私小説要素が強いという。直木賞受賞。映画では原作より主人公の年齢を上げ、ミステリー興味より隠微な環境にエロティシズムが浮上する。

'62(大映)◎川島雄三◎舟橋和郎◎村井博◎西岡善信◎池野成◎若尾文子、三島雅夫、木村功、高見国一、中村鴈治郎、山茶花究、万代峯子、加茂良子、小沢昭一、西村晃、荒木忍、葛木香一、東良之助、寺島雄作、菅井きん

28 4/21(水)0:30pm 5/4(火)10:30am

ちいさこべ (170分・35mm・カラー)

原作▶山本周五郎

時代小説家の中で庶民の“情”を描いて比類のない山本周五郎の短篇が原作。江戸の大火で焼け出された子供たちは、かつての戦争映画第一人者・田坂具隆にとつて敗戦後の戦災孤児に重なる。日本の映画監督で唯一戦争責任を己れに受けとめた田坂の、誠実な思いがこめられた作。

'62(東映)◎田坂具隆◎鈴木尚之、野上竜雄◎坪井誠◎桂長四郎◎伊福部昭◎中村錦之助、江利チエミ、中村賀津雄、桜町弘子、東千代之介、木暮実千代、渥美清、大村文武、夏川静枝

29 4/17(土)10:30pm 4/30(金)7:00pm

真田風雲録 (100分・35mm・カラー)

原作▶福田善之

当時鋭敏の劇作家・福田善之の戯曲の彼自身がシナリオに加わった映画化。猿飛佐助をリーダーとする真田十勇士の大坂冬の陣・夏の陣の戦いに材を取り、自在に現代化、パロディー化しつつ、戦国乱世に60年安保体験を重ねて、娯楽性の中にシリアスな方向を垣間見せた異色のインテリ発時代劇映画。

'63(東映)◎加藤泰◎福田善之、小野竜之助、神波史男◎古谷伸◎井川徳道◎林光◎中村錦之助、渡辺美佐子、ジェリー・藤尾、大前鈞、常田富士男、ミッキー・カーチス、本間千代子、佐藤慶、河原崎長一郎、水木襄、大村文武、原田甲子郎、花柳小菊、千秋実

30 4/15(木)4:00pm 4/23(金)7:00pm

眠狂四郎殺法帖 (84分・35mm・カラー)

原作▶柴田錬三郎

1956年の「週刊新潮」創刊号から連載された「眠狂四郎」シリーズの、鶴田浩二主演の2本に次ぐ二度目の映画化で、市川雷蔵の主演12本のうち『殺法帖』は1本目である。雷蔵の死後、さらに松方弘樹主演で2本作られたが、狂四郎のニヒルな妖美には雷蔵が最も似合った。

'63(大映)◎田中徳三◎星川清司◎牧浦地志◎内藤昭◎小杉太一郎◎市川雷蔵、中村玉緒、城健三郎、小林勝彦、高見国一、扇町景子、真城千都世、沢村宗之助、荒木忍、南部彰三

31 4/14(水)1:00pm 5/4(火)5:00pm

江分利満氏の優雅な生活

(102分・35mm・白黒)

原作▶山口瞳

戦後の復興を担った平均的戦中派サラリーマンのほろ苦い心情を吐露した直木賞受賞作を、作者と同年代の監督と主演者が共感をこめて映画化したインテリ小市民の戦後史。原作者・山口瞳に似せた小林桂樹の役作りが話題になる。山口自身も酒場の場面に特別出演して興を添える。

'63(東宝)◎岡本喜八◎井手俊郎◎村井博◎浜上兵衛◎佐藤勝◎小林桂樹、新珠三千代、東野英治郎、ジェリー・伊藤、中丸忠雄、横山道代、平田昭彦、江原達怡、田村奈己、北あけみ、英百合子、太刀川寛

32 4/14(水)4:00pm 4/24(土)1:00pm

風の武士 (95分・35mm・カラー)

原作▶司馬遼太郎

司馬遼太郎初期作品の忍者もの伝奇ロマンの映画化で、幕府の隠密が主人公。紀州の隠れ里をめぐって陰謀詭計入り乱れる中で買われる愛が美しい。この後の司馬の本格歴史大作「竜馬がゆく」「坂の上の雲」などは、もはや映画でなくテレビが伝達する時代に移っていく。

'64(東映)◎加藤泰◎野上龍雄◎松井鴻◎川島泰三◎木下忠司◎大川橋蔵、桜町弘子、久保菜穂子、西村晃、南原宏治、野際陽子、中原早苗、宮口精二、原健策、沢村宗之助、北村和夫、大木実、進藤英太郎

33 4/15(木)0:30pm 5/9(日)10:30am

砂の女 (147分・35mm・白黒)

原作▶安部公房

戦後の芸術的前衛の交流から生まれた安部公房原作・勅使河原宏監督コンビの『おとし穴』に続く第2作。砂の穴に囚われた男という設定に閉塞状況の中の新たな可能性を見出す現代の寓話。映画ではエロティックな描写もあり、興行的にも成功した。カンヌ映画祭審査員特別賞受賞。

'64(勅使河原プロ)◎勅使河原宏◎安部公房◎瀬川浩◎平川透徹、山崎正男◎武満徹◎岡田英次、岸田今日子、三井弘次、伊藤弘子、矢野宣、関口銀三、市原清彦

34 4/13(火)7:00pm 5/5(水)2:00pm

砂の上の植物群

(94分・35mm・パートカラー)

原作▶吉行淳之介

原作は「第三の新人」の中心人物の一人、吉行淳之介の代表作。彼の一貫したテーマであった性による人間認識が主人公の心理を通じて、巧緻な文体で語られる。映画化の試みは文学と映画の表現のギャップに対する意欲的な挑戦でもあった。題名はクレーの絵に由来する。

'64(日活)◎◎中平康◎池田一朗、加藤彰◎山崎善弘◎大鶴泰弘◎黛敏郎◎仲谷昇、島崎雪子、稲野和子、西尾三枝子、信欽三、小池朝雄、高橋昌也、福田公子、岸輝子、須田喜久代、雨宮節子、浜口竜哉、藤野宏、有田美子、葉真木子



偽大学生



雁の寺



砂の女

35 4/16(金)0:30pm 5/5(水)10:30am

白い巨塔 (150分・35mm・白黒)

原作▶山崎豊子

故郷の大阪船場ものから社会的視野をひろげていった山崎豊子が、大学医学部を舞台に大学内の権力闘争を暴露した野心作を、社会派にして見せる技も心得た山本薩夫が見えのする映画に仕上げた。主演の田宮二郎は1978年にテレビで同じ役を演じた直後に自殺した。

'66(大映)◎山本薩夫◎橋本忍◎宗川信夫◎間野重雄◎池野成◎田宮二郎、東野英治郎、田村高廣、小沢栄太郎、船越英二、滝沢修、加藤嘉、下條正巳、石山健二郎、藤村志保、小川真由美

36 4/18(日)10:30pm 4/23(金)1:00pm

佐々木小次郎 (151分・35mm・カラー)

原作▶村上元三

戦後抑圧されていた時代も文化は、本作の原作と映画化三部作(1950-51)で復活した。背景には冷戦構造による古領政策の変化がある。小次郎の享楽性は戦前の吉川英治「宮本武蔵」の求道性とは対照的で、「アブレ小次郎」といわれた。今回上映は稲垣監督自身のリメイク版。

'67(東宝)◎◎稲垣恒浩◎白坂依志夫、松浦健郎◎齊藤孝雄◎植田寛◎崎出伍一◎尾上菊之助、仲代達矢、三橋達也、長門勇、司葉子、星由里子、沢井桂子、大空真弓、三益愛子、中丸忠雄、土屋嘉男、市川中車、平田昭彦、清水将夫、藤田進、石山健二郎、香川良介

37 4/16(金)4:00pm 5/9(日)2:00pm

私が棄てた女 (116分・35mm・パートカラー)

原作▶遠藤周作「わたしが棄てた女」

若いサラリーマンが出世のために昔の女を棄てる。中間小説として書かれてはいるが、カリック作家・遠藤周作の場合、罪の問題、キリストの愛の主題は貫かれる。そして「棄てる」とは、森鷗外「舞姫」以来の近代日本知識人の「原罪」でもあった。浦山は小津安二郎の『東京物語』を意識したという。

'69(日活)◎浦山桐郎◎山内久◎安藤庄平◎横尾嘉良、深民浩◎黛敏郎◎河原崎長一郎、浅丘ルリ子、小林シエ、小沢昭一、加藤武、岸輝子、辰巳柳太郎、加藤治子、夏海千佳子、佐野浅夫、露口茂

38 4/17(土)1:00pm 4/27(水)4:30pm

日本の悪霊 (96分・35mm・白黒)

原作▶高橋和巳

戦後派文学の衣鉢を継ぎ、1960年代に次々と政治的・社会的テーマの力作を発表した高橋和巳の唯一の映画化作品。脚本を担当した劇作家の福田善之、監督の黒木和雄も同世代で、戦後の共産党の武力闘争の挫折の経験が根底にあるが、映画は福田の主導で深刻な原作をパロディー化した感がある。

'70(中島正幸プロ=ATG)◎黒木和雄◎福田善之◎堀田泰寛◎平田逸郎◎岡林信康、早川義夫◎佐藤慶、高橋辰夫、観世栄子、高橋美智子、堀井永子、奈良あけみ、榎本陽介、鳥森皓祐、深尾誼、鈴木尚全、土井通肇、倉沢周平、渡辺文雄、土方巽、殿山泰司、岡林信康



私が棄てた女

39 4/14(水)7:00pm 5/8(土)4:30pm

書を捨てよ町へ出よう (137分・35mm・カラー)

原作▶寺山修司

前衛歌人として出発し、1960年代にさまざまな芸術ジャンルで華々しい活動を展開した寺山修司が、劇場用映画に進出した第1作で、自作の「ドキュメンタリー・ミュージカル」の映画版。従来の物語映画の規範を軽々と跳び越え、奇抜なイメージに戯れた挑発的な「テラヤマ映画」。サンレモ映画祭グランプリ。

'71(人力飛行機プロ=ATG)◎◎寺山修司◎勤田正義◎林静一、榎本了壹◎下田逸郎、J・A・シーザー、柳博義◎小林桂樹、丹波哲郎、藤岡弘、いしだあゆみ、二谷英明、島田正吾、夏八木勲、神山繁、村井国夫

40 4/20(水)3:30pm 5/6(木)7:00pm

日本沈没 (143分・35mm・カラー)

原作▶小松左京

原作は日本列島全体が水没するというショッキングな設定で、高度成長終焉期の時代の気分を反映し、従来のSFファンを超えた大衆にアピールし、東宝特撮人を駆使した大作として映画化された。2006年には再映画化の他、筒井康隆のパロディー作「日本以外全部沈没」まで映画になった。

'73(東宝=東宝映像)◎◎森谷司郎◎橋本忍◎村井博、木村大作◎村木与四郎◎佐藤勝(特技監督)◎中野昭慶[特殊技術]◎富岡素敏(光学撮影)◎宮西武史◎井上泰幸(合成)◎三瓶一信◎小林桂樹、丹波哲郎、藤岡弘、いしだあゆみ、二谷英明、島田正吾、夏八木勲、神山繁、村井国夫

41 4/21(水)7:00pm 5/9(日)5:00pm

本陣殺人事件 (106分・35mm・カラー)

原作▶横溝正史

『犬神家の一族』(1971年)を皮切りにした市川崑監督による横溝正史作品の連作は「横溝ブーム」をもたらしたが、その仕掛けとは別系統の名作を映画化したもの。原作は戦後復活した探偵小説界に戦前派の大家が本格謎解き推理で再登場した記念碑的作品で、名探偵・金田一耕助もここでデビューしたのである。

'75(たかばやしプロ=映像京都=ATG)◎◎高林陽一◎森田富士郎◎西岡善信◎大林宣彦◎中尾彬、田村高廣、新田章、高沢順子、東竜子、水原ゆづ紀、三戸部スエ、東野孝彦、常田富士男、村松英子

42 4/16(金)7:00pm 5/8(土)1:30pm

十八歳、海へ (110分・35mm・カラー)

原作▶中上健次

1980年代の日本語文学をリードした中上健次は、今回の上映作品の原作者の中で唯一の戦後生まれの作家である。「十八歳、海へ」は60年代後半の若い頃に書かれた初期作品集で、映画はそのうち「隆男と美津子」を主材料とする。心中ごっこを軸に、若い四人の男女のひと夏の出会いと別れを描く青春映画。

'79(こっかつ)◎藤田敏八◎田村孟、渡辺千明◎安藤庄平◎徳田博◎チ河内◎森下愛子、永島敏行、島村佳江、下條アトム、小林薫、鈴木瑞穂、小沢栄太郎、深水三章、堀永子、八木景子



十八歳、海へ

43 4/18(日)2:00pm 4/22(木)4:00pm 5/7(金)7:00pm

死の棘 (114分・35mm・カラー)

原作▶島尾敏雄

夫の浮気が原因で精神錯乱の状態に陥って狂乱を繰り返す妻。戦後文学に独自の地位を占める島尾敏雄が書き継いだ、運命的な男女の非日常的結びつきに発した「夢の中での日常」は、抑制された静謐なスタイルで日常的映像に移された。カンヌ国際映画祭で「グランプリ・カンヌ1990」受賞作。

'90(松竹=松竹第一興行)◎◎小栗康平◎安藤庄平◎横尾嘉良◎細川俊夫◎松坂慶子、岸部一徳、木内みどり、松村武典、近森有莉、山内明、中村美代子、平田満、浜村純、小林シ江

展示室(7階)

企画展

映画資料でみる

映画の中の日本文学 Part 3

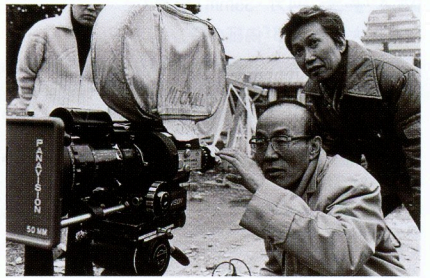
一戦後の文学一

Japanese Literature in Film Part 3

一 From the NFC Non-film Collection

4月6日(水)~6月20日(日) *月曜日は休室

フィルムセンターの所蔵品を中心とするスチル写真・ポスター・シナリオなどを通して、映画がいかに日本のさまざまな文学作品を糧に生み出されてきたかをたどる展覧会。シリーズの第3回となる本展では、主として戦後期に活躍した作家たちの原作による映画作品に焦点を当てます。



遠藤周作(下)と熊井啓監督『海と毒薬』(1986年) 熊井監督旧蔵の撮影スナップ/撮影:斐昭



中上健次原作『十八歳、海へ』(1979年) 藤田敏八監督旧蔵の修正原稿と撮影台本

常設展 企画展に併設

展覧会 映画遺産

一東京国立近代美術館フィルムセンター・コレクションより一

The Japanese Film Heritage

一 From the Non-film Collection of the National Film Center 一

開室時間=午前11時~午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料
*()内は20名以上の団体料金です。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示下さい。

*フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

月	火	水	木	金	土	日
4月	1 王将 1:00pm (93分)	4 真空地帯 1:00pm (128分)	6 二十四の瞳 1:00pm (155分)	10 ビルマの豎琴 1:00pm (116分)	12 東北の神武たち 他 (計92分)	22 コタンの口笛 11:00am (126分)
	2 暁の脱走 4:00pm (110分)	5 足摺岬 4:00pm (107分)	8 潮騒 4:30pm (96分)	13 挽歌 4:00pm (116分)	17 点と線 1:00pm (85分)	24 拳銃無頼帖 抜き射ちの竜 (85分)
	3 三等重役 7:00pm (98分)	7 愛と死の谷間 7:00pm (117分)	9 姉妹 7:00pm (100分)	11 台風騒動記 7:00pm (107分)	19 人間の条件 第一部・第二部 (206分)	25 偽大学生 (94分)
	15 巨人と玩具 1:00pm (95分)	31 江分利満氏の優雅な生活 (102分)	33 砂の女 0:30pm (147分)	35 白い巨塔 0:30pm (150分)	29 真田風雲録 10:30am (100分)	36 佐々木小次郎 (151分)
	26 花影 4:00pm (99分)	32 風の武士 4:00pm (95分)	30 眠狂四郎殺法帖 4:00pm (84分)	37 私が棄てた女 4:00pm (116分)	38 日本の悪霊 1:00pm (96分)	43 死の棘 2:00pm (114分)
	34 砂の上の植物群 7:00pm (94分)	39 書を捨てよ町へ出よう (137分)	27 雁の寺 7:00pm (98分)	42 十八歳、海へ 7:00pm (110分)	20 人間の条件 第三部・第四部 (178分)	18 森と湖のまつり (113分)
	14 猫は知っていた 1:00pm (85分)	28 ちいさごべ 0:30pm (170分)	25 偽大学生 1:00pm (94分)	36 佐々木小次郎 (151分)	8 潮騒 10:30am (96分)	5 足摺岬 (107分)
	40 日本沈没 3:30pm (143分)	23 わが愛 4:30pm (97分)	43 死の棘 4:00pm (114分)	15 巨人と玩具 4:30pm (95分)	32 風の武士 1:00pm (95分)	7 愛と死の谷間 (117分)
	16 若い獣 7:00pm (101分)	41 本陣殺人事件 7:00pm (106分)	4 真空地帯 7:00pm (128分)	30 眠狂四郎殺法帖 7:00pm (84分)	21 人間の条件 第五部・第六部 (190分)	11 台風騒動記 (107分)
	19 人間の条件 第一部・第二部 (206分)	20 人間の条件 第三部・第四部 (178分)	13 挽歌 11:00am (116分)	21 人間の条件 第五部・第六部 (190分)	2 暁の脱走 11:00am (110分)	6 二十四の瞳 (155分)
	38 日本の悪霊 4:30pm (96分)	1 王将 4:30pm (93分)	23 わが愛 2:00pm (97分)	16 若い獣 4:30pm (101分)	4 真空地帯 2:00pm (128分)	3 三等重役 2:00pm (98分)
	17 点と線 7:00pm (85分)	12 東北の神武たち 他 (計92分)	26 花影 5:00pm (99分)	29 真田風雲録 7:00pm (100分)	14 猫は知っていた 5:00pm (85分)	10 ビルマの豎琴 (116分)
5月	28 ちいさごべ 10:30am (170分)	35 白い巨塔 10:30am (150分)	18 森と湖のまつり 1:00pm (113分)	22 コタンの口笛 1:00pm (126分)	9 姉妹 11:00am (100分)	33 砂の女 (147分)
	27 雁の寺 2:30pm (98分)	34 砂の上の植物群 2:00pm (94分)	24 拳銃無頼帖 抜き射ちの竜 (85分)	14 猫は知っていた 4:00pm (85分)	42 十八歳、海へ 1:30pm (110分)	37 私が棄てた女 (116分)
	31 江分利満氏の優雅な生活 (102分)	16 若い獣 5:00pm (101分)	40 日本沈没 7:00pm (143分)	43 死の棘 7:00pm (114分)	39 書を捨てよ町へ出よう (137分)	41 本陣殺人事件 (106分)

■作品により開映時間が異なりますのでご注意ください。

図書室カレンダー

赤字は休室日

4月

月	火	水	木	金	土	日	
				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			

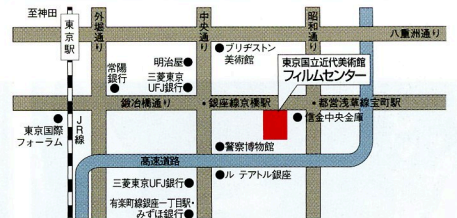
図書室(4階)

開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニューズレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口M4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ホームページ:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>

